



<市町村探訪>

中心市街地の機能再生と交流拠点づくり まちづくり交付金による「大子駅周辺地区整備事業」

(大子町)

【背景】

本町は、茨城県の最西北部に位置し、昭和30年に1町8か村が合併し325.78 k㎡の広大な面積と人口4万を有する町となりました。

近年は、少子高齢化による人口減少に伴い、人口が2万人余りと過疎化が進み、中心市街地においても衰退が見受けられるようになってきた中で、町の重要な課題であった国道461号大子バイパスが事業化されたことに合わせて、中心市街地の機能再生と交流拠点づくりを図るため、「大子駅周辺地区」を対象とした、まちづくり交付金事業による都市再生整備計画を平成18年3月に策定しました。

その中で、次のようなまちづくりの目標と整備方針を定め事業を進めているところです。

■ まちづくりの目標

公共交通の結節点である常陸大子駅周辺の中心市街地の機能再生と、町民やまちを訪れる人々の交流拠点づくり。

■ まちづくりの整備方針

- ① 中心市街地の機能再生
国道461号大子バイパスにあわせ駅前ロータリーや駅前駐車場を整備し水郡線や商店街の利用を促進する。
- ② 中心市街地の交流拠点づくり
観光や文化を通じ、町民とまちを訪れた人々との交流拠点となる複合施設や河川公園を整備しイベントなどによる交流機会を創出する。
- ③ 歩行環境の改善と回遊性の向上
市街地内の歩道の段差解消やウォーキングコースを整備し、通学や通院の歩行環境を向上させる。

■ 事業期間

平成18年度～平成22年度

【整備概要】

■ 大子駅前ロータリー

駅前にアクセスする国道461号大子バイパスの交差点計画に合わせ駅前ロータリーを拡張し機能と利便性の向上を図る。

面積：1,500㎡ (バス、タクシー、一般車乗降場)

■ 駅前駐車場

既存の駐車場を拡張し管理方法を機械式にして効率化と利便性を向上させ水郡線や商店街の利用促進を図る。

駐車台数：57台

■ 大子町文化福祉会館「まいん」

町民や、まちを訪れた観光客との交流機会を創出するためのイベント開催や、文化やコミュニティ活動及び、子育てを支援する事業等により、多くの人が集える拠点として整備する。

敷地面積：約6,000㎡

延べ床面積：2,506㎡

構造：鉄筋コンクリート2階建 (ホール棟：398席)
木造2階建 (交流棟：社会福祉協議会、観光協会子育て支援室、交流ホール)

※ 愛称の「まいん」は、町内外に募集を行い、379点の応募の中から英語の「mine」(私のもの)という意味と(人であふれて満員になる)という思いから選ばれました。



■ SL展示場

現在、中央公民館に展示してある蒸気機関車(C12)を駅前駐車場の一角に移設し中心市街地の新たな観光資源とする。

■ 河川公園「湯の里公園」

廃業したまま廃墟となっていたホテルを解体撤去し、景観の改善と、その跡地を各種イベント(花火大会、鮎のつかみ取り、YOSAKOI祭り等)が開催できる公園として整備する。

面積：約4,000㎡

※ 「湯の里公園」の名称は、敷地内から温泉が自噴していたことと、温泉が町の観光資源となっていることから名付けました。



(河川公園での常陸の国YOSAKOI祭り)

■ 町道の歩道整備

中心市街地で各種病院への通院等で高齢者が通行する路線の歩道をフラットにし、車いす等での利用も可能とした。

また、幼稚園や小学校のある区域の町道側溝に蓋をして子供達が安心して通学できるエリアを確保した。

整備延長：1,041m



(整備された通学路)

□ 商店街の景観検討調査

中心市街地の機能再生に欠かせない商店街の活性化を図るためには、店舗のデザインやおもてなしの心をどのように表現したら良いのかについて専門家を招いて現地調査や講演会を行った。



(常陸大子駅前の整備後の完成予想図)

【年度別の事業概要】

- 平成17年度 国道461号大子バイパスの事業化に向けて都市計画道路の変更を行った。
- 平成18年度 まちづくり交付金事業を行うための「都市再生整備計画」を策定した。
河川公園用地となるホテルの解体
- 平成19年度 歩道段差解消・河川公園整備・大子町文化福祉会館基本設計
- 平成20年度 駅前ロータリー・駐車場設計
大子町文化福祉会館建設工事
(20～21年度)
- 平成21年度 大子町文化福祉会館外構工事
- 平成22年度 駅前ロータリー・駐車場整備工事

【事業の成果】

この事業も着手して4年が経過したことで、事業の成果が徐々に形になって表れてきています。

その中でも、初年度に商工会や商店会の皆さんを対象にして、まちづくりの専門家を講師に招いて開催した商店街の現地調査や講演会がきっかけとなり、早速、店の看板や、メニューを手書きにしたり、店の前に花やベンチを置く店が増えてくるなどの成果が現れてきました。

今年度には、中心市街地における交流拠点となる大子町文化福祉会館「まいん」が完成し、4月16日に記念式典を行う運びとなっており、本格的に運営が始まれば中心市街地への人の流れが出来ることで商店街においても新たな賑わいが生まれてくるものと期待されているところです。

また、最終年度には町の玄関口である常陸大子駅のロータリーや、駅前駐車場の整備を行いまちづくり交付金事業が完了となりますが、関連事業である国道461号大子バイパス事業の進捗が遅れ気味となっていますので、町としても県との連携を取りながら事業を推進し、まちづくりの目標を達成したいと考えています。

<お問い合わせ先>

大子町建設課・建設グループ
TEL 0295-72-2611 (直通)
E-mail kensetsu@town.daigo.lg.jp